



NEWSLETTER

第23号 1999年1月1日発行

歯科保健医療国際協力協議会

事務局：〒390 長野県松本市横田 3-10-14 TEL&FAX：0263-39-1583

発行：村居正雄 編集：大鶴次郎 現会員数：245名

Japan Association of International Cooperation for Oral Health

年頭にあたって

会長 村居正雄

JAICOH会員の皆様、新年をいかに迎えてでしょうか。本年が良い年でありますよう、ご多幸とご発展を心よりお祈り申し上げます。

さて、本号からニュースレターのスタイルを一新しました。JAICOH会員に向けての対内広報誌から、対外的なメッセージも包含した広報へと変身することになったのです。

歯科ペンクラブのご理解をいただき、その機会を与えていただいたことに心より感謝申し上げます。年一回、歯科ペン誌上にJAICOHの活動や国際協力の話題を掲載させていただきます。私どもにとりましては、会員外の多くの方々に国際協力を理解していただく良い機会ですし、歯科ペンクラブにとりましても何らかのプラスとなるべく、努力をして参りたいと思っております。

JAICOH(ジャイコー)って何だ? という率直な疑問にお答えします。歯科保健医療国際協力協議会(Japan Association of International Cooperation for Oral Health)が正式な名称で、NGOの一員でもあります。

国際保健医療協力という点、ドリルや抜歯鉗子を持って行って医療に恵まれないところで医療活動をする、と考える方が多いようです。それも活動内容の一つですが、私たちはその他に、①途上国の保健政策の立案やシステム作りに協力したり(政策的協力)、②地域や村レベルでの住民参加型健康作りへの協力、③日本国内で歯科保健分野の国際協力活動の認知や情報収集と提供、ノウハウの蓄積、④歯科大学教育の中で国際保健医療学を新しいジャンルとして加えてもらうための活動など様々な角度からの医療協力を行っています。

JAICOHが現在、実際に協力活動を実践している国は、カンボジア、ソロモン諸島、ミャンマーなどです。決して他人の家に、土足でズカズカ入り込むのではなく、それぞれの国での自立した医療体制の確立を目標に、共に悩み、共に学びながらじっくり取り組んでいきたいと考えております。途上国から学んだことが日本の地域保健の見直しとなり、若い歯科医師、歯科衛生士、歯科学生にとって医の原点に触れる良い機会となる成果もあります。

多くの方のJAICOHへのご支援、ご参加をお待ちしております。

JAICOH NEWS LETTERは下記のご協力を得て作成されております

※上図での歯科保健を行う際の好指針!

医療に恵まれないところでの
歯科保健の手引き 好評

— 歯科保健の国際協力活動マニュアル —
Where There Is No Dentist

マレイ・ディクソン 著
歯科保健医療国際協力協議会 訳

●555円(216p) ●定価 (本:¥3,000円+税) ●送料*310円

財団法人 口腔保健協会

〒170-0003 墨田区錦町1-45-9 葛西75ビル TEL: 03-3647-8331 FAX: 03-3647-8073

「毎日、毎日……」
「繰り返し、繰り返し」

使いたくなる
ホームケア歯ブラシ

(ホームケア) 歯ブラシ
株式会社 永山 FAX 0120-118418
株式会社 永山 FAX 0120-648581

「GC」
はじめての
コンポジット直接充填!
はじめての1液性セルフ
エッチングプライマー!

ユニファルフ ■長期的なフッ素の徐放。
■ビタシェード9色+A03, CV。

ユニファルボンド

■混和不要、簡便2ステップ。
■接粘性モノマー「4-MET」による優れた接粘性。

株式会社 ジーシー
DICフリーダイヤル 0120-416480

東北ブラジル便り(二)

池田憲昭

J A I C O H の皆さん、新年明けましておめでとうございます

私は今、ブラジルの東北部、ペルナンブコ州のレシフェ市からこの便りを書いていきます。国際協力事業団(JICA)が行なっている「東北ブラジル公衆衛生プロジェクト(プロジェクトタイプ技術協力)」に、五名の日本人専門家が参加していますが、そのチームリーダーとして今年の四月からこちらに赴任しております。

この欄では、私たちのプロジェクトをご紹介し、日常的に私たちが直面している問題や悩みなどを皆さんにお伝えしたいと考えています。「国際協力とは」などと大袈裟なことではなく、現場の雰囲気と実際の活動を少しでもお伝えできれば幸いです。

何故ブラジルか?

ブラジルは、すでに開発途上国ではありません。一人当たりのGNPは、三六四〇米ドル(一九九五年)で、この値はマレーシアの三八五〇米ドルにも匹敵します。しかし富裕層と貧困層との格差は大きく、各層

の平均所得を比較すると、三十倍もの開きが見られます。この事が、ある意味では深刻な社会問題の原因になっていきます。また、地域的な社会

発展度にも大きな隔たりがあります。ここ東北部地域は、ブラジルの貧困

人口の実に五十四%にあたる人が住んでいる地域で、保健衛生環境も劣悪です。これは乳児死亡率を例にと

っても解る通り、南部地域では乳幼児一、〇〇〇人あたり二十人ですが、東北部地域では六十人(日本は四人)

と非常に高い数値です。このような状況に対して、ブラジル政府および州保健行政が無策であったわけでは

ないので、政権が変わる度、全ての担当者も変わる習慣があるため、木目細かい継続的な保健医療サービ

スが届き難い状況にあります。そこで、様々な分野の人材を擁する

大学に拠点を置き、地域と大学および行政を結び付けるような公衆衛生普及の活動こそが、不安定な地域

保健を強化できるという考え方を基本に、一九九五年から二〇〇〇年ま

での期間、今回のこのプロジェクトが実施されることになったのです。ブラジルは、先進国と途上国の問題と矛盾を併せ持っていて、疾病構造も先進国と途上国のそれが混在し

ています。

このプロジェクトを実践して得られる地域保健問題の解決手段を、これからの世界各国における国際保健の現場に発信できる、情報センターとしての役割を目指しています。

「思いやる」という事―貧困や劣悪な保健環境に生きる事を強いられている人々

ミセス・ダルースは、私たちの働いているペルナンブコ大学公衆衛生センターで、掃除を仕事として働いている四十代の女性です。

ある日私たちの部屋に入ってきた彼女の顔があまりに生気がなく、ひどく疲れているようだったので、わけを尋ねると急に涙を流し始めました。よく聞いてみると、ある教員から会議中に飲み物を出さなかったことを叱られたらしいのです。彼女は、

会議の有無には常に気を配っていますが、急な会議が重なるとうとうでも対応できなくなることもあるのだ

といいます。どうも事の内容よりも、教員の叱り方が問題だったようです。

ここでは大学教員と彼女のこのような職種には明らかな社会的格差があります。教員達は、時には大声でミセ

J A I C O H NEWS LETTERは下記の各社のご協力を得て作成されております

NSK ナカニシの
ハンドピースは、
世界中の先生方に
愛用されています。

NSK 株式会社 ナカニシ
〒322-8666 栃木県鹿沼市上日向340

株式会社 松風

SHOFU

時代のニーズに応えるビデオ!

口腔介護の実践(全3巻)

I. 訪問歯科診療
口から食べるための支援
口腔介護とリハビリテーション
(歯科医師向け/26分)

II. 歯科衛生士の訪問口腔ケア
要介護者のQOLの向上を目指して
(歯科衛生士向け/27分)

III. 介護者の口腔ケアのポイント
美味しく楽しく食べられるために
(介護者向け/25分)

注:各1冊約40分、全3巻構成でわかりやすく解説。
★各巻定価16,760円(税込) ★3巻セット価格42,000円(税込)

Dy 株式会社 デンタルダイヤモンド社
〒111-0033 東京都千代田区東1-15-6 TEL: 03-3614-9161 FAX: 03-3614-9125

ス・ダルースを呼びつけてあれこれ言いつけます。まさに頭で使うという表現がこれではないだろうかと思ふ時もあります。給与も、国の最低賃金(一万三千円)の彼女と、教員とでは十五倍から二十倍の差があるでしょう。今の日本にこんな職場がありますか?。ダルースは、私たち日本人専門家が彼女にごく普通に接するので、日本には差別という事が無いのか、あるいは特に選ばれた差別感覚のない日本人が来ているのかと聞くのです。

プロジェクトの目指すものは

「不平等」、これを解決せねば保健問題も解決しない、と大学の教員達をよく言います。この国で小学校を終えることができる子供は二十%だけですから、大学卒業者はごく少数の選ばれた人達で、社会的地位も収入も保証されています。

こうした立場の教員や学生が、同じ国民でありながら飢餓に苦しむ子供達がいることを考え、そのことに思いをやることは、私たちが考えるほどたやすいことはありません。

不平等さについての感受性は、自分の居場所の問題に目を伏せている限り養われない、と思うからです。

JAICOH-NETにお使いください!!

JAICOHNEWSLETTERは会員の皆さんの伝言板です。E-メールでいただいたお便りを、この誌上で紹介させていただきます。国際協力に関すること以外でも遠慮なく知らせてください。様々なネットワークを活用して、思わぬ展開をすることもあるでしょう。そんな小回りの利くJAICOHでありたいものです。

*JAICOH-NETにアクセスし、同報ネットを活用するには下記アドレスに登録してください。

jaicoh-net@hi-ho.ne.jp

筆者プロフィール 国立国際医療センター国際医療協力局派遣協力課 歯科医師・国際協力事業団(JICA)一東北ブラジル公衆衛生プロジェクトリーダーとして現在ブラジル在住 E-mail: noikedata@ibm-net

地域住民の抱えている問題を、行政と協力して住民と共に解決する。そうした事ができる、行動力と指導力をもった教員や学生の育つことが、このプロジェクトの狙いの一つです。しかし、ダルースの疲れた顔を見ていると、本当にうまくゆくものか心配になってしまいます。(つづく)

湯けむり通信

事務局から

JAICOHの事務局は信州・松本の奥座敷といわれる浅間温泉の近くにあります。

かつて養蚕で活気のある地域でしたが、今は都市化が進み温泉も昔の賑わいはありません。しかし戦後、地域の中で人々の学習や文化活動が盛んに行われ、現在でも公民館が大きなもので二十四、町内の公民館を加えれば四百近い数になるなど、地域の人々の学習・教育活動は健在です。住民が主体的に身近な地域で自分の暮らしの質をたかめていこうという意識は松本の特徴かと思えます。

JAICOHも歯科医療を原点としながら、人々の生活や暮らしへと視野を拡げてきました。中でも「地域」という言葉にこだわってきた。自分の足元、住んでいるところ、仲間など「地域」のイメージは人それぞれ違うでしょう。しかし自分自身を見つめ、自分の暮らしを問い直すという姿勢は設立以来、大切にしてきた宝物だと感じています。戦後五十年、誰もが目一杯に走りつ

づけてきた私たちですが、高齢化や成長の限界に直面する今、足元をもう一度問い直す時期ではないでしょうか。

一度、温泉につかりながら、ゆっくりお話ししませんか。お待ちしております。

◆DHネット―国際協力に関心のある歯科衛生士のためのワークショップへ参加しませんか

好評のDHネット企画の講演会が関西で行われました。

日時：十二月六日・十二時三十分～十七時

場所：神戸学生センターにて

講師：モンゴル歯科探検隊の米花

佳代子さん

演題：「海外経験が変えた

―仕事・人生観―

今後の活動についての詳しくは柴

田まで。FAX052-5043818

.....

◆第四十七回口腔衛生学会総会・大会開催されました

十月十四日からの口腔衛生学会総会・大会にて「歯科保健医療の国際協力―地域保健のクオリティマネジメントをどうするか」という自由集会をJAICOHのメンバーが企

画し実施しました。

なお開催地仙台の高橋強さんから「地方でJICOHの活動に触れる機会」というメッセージをいただきました。各地のの会員の方々との情報交換、コミュニケーションに努力したいと思います。どんな小さなことでも結構です。思いついたことをぜひご提案下さい。

◆ソロモンプラザとソロモン報告会

十一月一日、長野県短期大学大学祭にて九十八年度のスタディツアー参加者による報告会「暮らしの中からつながる世界」がパネルディスカッション形式で行なわれました。

会場ではソロモンプラザという名称で写真や資料の展示やビデオの上映、フリーマーケット、お茶のサービスなどもあり、和やかな雰囲気でした。来年へむけてスタディツアーの準備を始めたという声もでしたが、関心のある方、一緒に準備に参加しませんか。事務局まで。

◆タイでデンタルナースのセミナー

タイのチェンマイにおいて「口腔保健国際センターデンタルナース」の研修が、十一月五日から約一週間開催されました。

J A I C O H 会員の支援でカンボジアから、Ms. Chang Chheng Leang が参加、また日本からは大西直美、柴田享子、東郷晶子さんが参加しました。

これに先立って Ms. Leang のスカラシップへの寄付をお願いしましたところ、十一月十五日現在、十五名の方々から六万七千円を頂きました。ありがとうございます。今後もカンボジアとは人的な交流、協力を続けたいと思います。

◆ミャンマーへミッション派遣

十一月十五日から約一週間、ミャンマーへの医療協力三次ミッションとして村居正雄、真木吉信、宮崎秀夫さんが派遣されました。

歯科保健教育の現場の視察や、口腔調査、教材づくりのための準備などの協議を行いました。

◆会員からの LETTER

― 手作り調査票で頑張っています ―

J O C V にて歯科医師隊員として活躍している高垣美智子さんから、十月二十六日、J A I C O H - N E T に次のようなお便りが届きました。「すっかりご無沙汰してしまいました。(中略) 日本は暗い、ニュースが多

いようです。ね。良いときに日本を脱出したな一と感じています。私の地の北海道も不況で、倒産や破産の嵐が吹き荒れているようです。

こちらはやっと来週から州のプレスクール、エレメンタリースクールの歯科診療を始めます。約一カ月半、一週間一地域を廻ります。調査票もパソコンにとらめっこ、四苦八苦して作りました。手作りの調査票です。とりあえず、現在の口腔疾患状態と口腔衛生習慣について調査します。今後の衛生指導の基礎資料にする予定です。うまくいくかどうかわかりませんが頑張ります。調査結果など集計しましたら送らせていただきます。それではまたご連絡します。」

― 在日外国人歯科医療に取り組んでいます ―
横浜市神奈川区・港町診療所内
港町歯科院長 大鶴次郎

私たちはアジア・アフリカ・中南米から来日している外国人に対し歯科医療の提供を試みており、来院患者さんの約六割が外国人です。日本に長期滞在している外国人は独自の社会(コミュニティ)をもっています。彼らのコミュニティでは母国の食料品や日用雑貨が流通しており、

日本に居ながらも日本語を使わず生活することが可能です。

在日外国人は移動が多いようで、定期検診の連絡に支障が生じています。そこでキリスト教団体や民間活動団体(NGO)の協力を得て、年数回、教会で出張歯科検診を行なっています。外国人は我々日本人と習慣・文化が異なるためコミュニケーションが大変ですが、おかげさまで刺激的な臨床生活を楽しんでいます。

学生によるスタディツアー

学生自らが企画運営するスタディツアーです。ご注目ください!
期間・一九九九年四月二十九日(木)～五月五日(水)の一週間

行き先…ミャンマー

目的…今までになかった企画で、学校を超えた歯学部学生の連携を目的としています。そのため、他大学からの参加者を募っています。

申し込み/お問い合わせ

東京歯科大学国際医療研究会

学生代表 阿部 智まで

Tel/Fax

〇四三二八五九五二二

Eメール

QWR04446@niftyserve.ne.jp.